

5月10日【講話】

みなさん、おはようございます。

今日は、入学式でお話した「3つの心がけて欲しいこと」について、1年生のみなさんはもちろん、2, 3年生のみなさん、全員で考えてみたいと思います。  
その3つとは、何でしたか。覚えていますか。

「挑戦」「目標」「無我夢中」でしたね。

さて、先日、校舎の裏手にある、若葉で彩りを見せた木々の中の道を歩いていました。  
新しい葉の息吹、新緑の匂い、心地よさ、新しい何かが始まる、心躍る新緑の季節を全身で感じました。  
ただ、こんな素敵な時期に、世の中では胸が詰まるような様々なニュースが飛び交い、私たちは、不透明さを抱え、次の一步を踏み出すのに、大きな勇気がいります。

「どうしたら、いいのだろう」

「誰の言うことを信じればいいのだろう」

そんな思いが頭を駆け巡ることはありませんか。

こんな時だからこそ、何かに「挑戦」し「目標」をたて、ただただ、「無我夢中」になって、一步ずつ前に踏み出すこと、それが、大事だと、私は思います。

自分自身を振り返って、考えてみてください。

昨日まで、できなかったこと

昨日まで、よく知らなかったこと

昨日まで、億劫「おっくう」にしていたこと

何かありませんか。

思えば、4月、学級開きがあり、クラスの係活動、部活動が決まり、そして、委員会活動が開始され、新しい学年の学習も始まりました。

人それぞれの役割や、役割がなくても、自分自身に決めた約束事があり、始まりがあったとことでしょう。

どうですか、約1ヶ月が経ちました。順調に前に進んでいますか。

私自身、何かかが出来るようになったときのことを振り返ってみると、「好きこそものの上手なれ」という言葉のとおり、好きだからこそうまく行って自分の力になったものでも、その過程では、厳しいこともたくさんあったなあ、と感じています。

挑戦してみたものの、うまくいかなかったときの、辛く、苦い思い出がよみがえってきます。

でも、勇気を出した一步は、確実に、前に進んだことの証であり、その後の人生で糧になっていることが多いのです。

「挑戦に向かう大きな力」が湧いたからこそ、行動に移せるわけですし、何より勇気をもって、

「進めてみたこと」、「考えたこと」を「行動に移してみたこと」が挑戦の大きな成果となるのだと思います。

皆さんは、これまで億劫だったこと、毛嫌いしていたことから、逆にエネルギーをもらえること。踏み出した一步から、勇気をもらえることを、実は知っています。

自分に「素敵」を呼び込んでください。そして、これからも「笑顔」で生活していきましょう。